

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 12 月 1 日

事業所名 通所支援事業所はなうた(対象者6名 回答6名)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	療育スペースは広間や学習室、和室等備えており定員に対しての広さは確保されています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	利用者様の状況(医療的ケア児等)に応じてスタッフの加配も十分です。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされるか。	4	2	個々の特性を理解したうえで、構造化(理解しやすい環境)を整えています。	環境は構造化されていますが、段差等のバリアフリーについては解消されていない箇所もあります。しかし、危険箇所は個別で介助をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	コロナ禍でもありましたが、換気・三密に気を付けています。室内消毒もできる限り行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	職員会議やケース会議等を実施し、職員が積極的に業務改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1		コロナ禍ということもあり実施いたしませんでした。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	研修への参加を行ったり、参加できなかった職員については、参加した職員からの報告により情報を共有	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	全てが標準化されてはいませんが、対象児に合わせて使っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	児童発達管理責任者を中心に、支援について話し合いを行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	月案を主任を中心に全職員で取り決め、支援を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	個々の発達に合わせてながら考えています。季節の行事なども取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	どちらの活動も取り入れるようにしています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	朝礼時に支援内容や役割の確認を実施しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	朝礼、支援前のミーティング、終礼時に、前日の振り返りや本日の打ち合わせを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	支援前のミーティングにより、前日の振り返りと本日の打ち合わせを行っています。日々ケース記録、日誌を記録し情報共有と支援への活用をしています。	
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	事業所内のモニタリングを実施し、ケース会議にて職員間での話し合いの場を設けています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	児発管、主任が参加をしています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0		個人情報に留意しながら、保護者の希望があれば行うようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	0	保護者を介して行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	1	保護者を介して行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	担当者会議への参加及び、送迎時に確認するようにしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	担当者会議への参加及び、移行支援シートの作成をしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4		コロナ禍ということもあり実施ができませんでした。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		会議への参加は行っていますが、コロナ禍ということもありオンラインでの参加をしています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳を活用したり、送迎時等で共有をしています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	保護者の方には個別面談やPT(機能訓練)の機会に参加していただいています。	今後はより丁寧に時間を取って保護者との情報共有をしていきたいです。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に説明をしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	ご相談等は職員間で共有し、状況に応じて対策、対応を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		父母の会は未実施です。今後は検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	必ず上司に相談し、対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	定期的にお便りを発行しています。写真を多く使用し、わかりやすく楽しく伝えるように工夫をしています。SNSを活用した情報発信も行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	小さな変化にも目配り、気配りを心掛けています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		コロナ禍ということもあり、実施しませんでした。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	食事の提供はしていません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	